

## 米中貿易摩擦の激化を受け、金融市場でリスク回避の動き強まる

- 米中貿易摩擦の激化を受けて世界的にリスク回避の動き
- 円高・株安の連鎖で日本株の下落が加速する懸念
- 日本株はPBR1倍割れの水準で割安感強まる可能性

## ■ 米中貿易摩擦の激化が株価下落の引き金に

7月30・31日に上海で行われた米中貿易協議で進展はみられず、米中貿易摩擦が再燃しています。トランプ米大統領は新たに中国からの輸入品約3000億ドルに9月1日から10%の追加関税賦課を表明。一方、中国は1ドル=7元超の人民元安を容認するとともに国有企業に対し米国産の農産物輸入停止を要請。5日に米財務省は中国を為替操作国に認定しました。金融市場ではリスク回避の動きが強まり株安・金利低下・円高が進みました。7月末比でNYダウは4.3%、日経平均は5.7%下落しています(図1)。

## ■ 当面、金融市場は不安定な展開へ

投資家心理を示すVIX指数が急上昇しており市場は今後も不安定な展開が見込まれます(図2)。米金融当局の積極的な利下げ姿勢が安定化の鍵となりえます。日本株はPBR1倍割れの可能性もあり、1倍割れの水準では割安感に着目した資金流入が期待されます(図3)。(向吉)

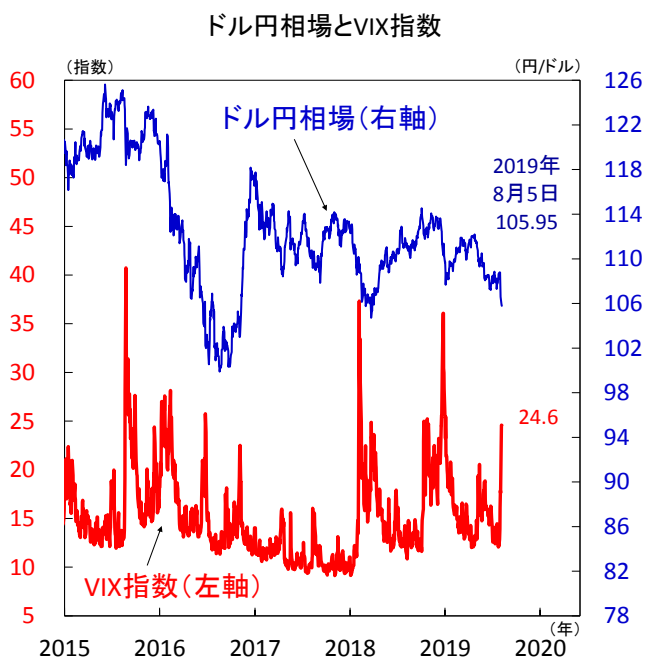
【図1】米国による対中国追加関税の賦課表明を受け、リスク回避の動き強まり株価が大幅下落



注) 日経平均株価の直近値は2019年8月6日前場引け値(※)。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図2】VIX指数が一気に上昇しリスク回避姿勢強まる、円高進行が日本株の下落を加速させる懸念



注) 直近値は2019年8月5日。VIX指数はS&P500対象のオプション取引をもとに算出、投資家心理を示す指標として利用。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図3】日本株の割安感が一段と強まる、PBRが1倍割れとなれば底堅い動きに



注) 直近値は2019年8月5日。PBRは株価純資産倍率、日経平均ベース。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会